

新刊紹介



図説 日本と世界の 土木遺産

著者：五十畑弘
発行：株式会社 秀和システム
仕様：A5版／442ページ
定価：2,400円（税別）

通勤や通学、買い物などのための人の移動や様々な生活物資を生産地から消費地へ輸送するための道路、鉄道などの交通施設、ガス、電気、水道などのライフラインなど、日々の生活に密接にかかわっているのが土木構造物である。自然災害が多いわが国では、地震、台風、津波などへの備えも大切である。土木構造物は、人々が様々な自然環境に働きかけることによって生み出されてきた。

土木構造物はひとたび創り出されると、その場所、地域の地形と一体になり、長い間人々との関わりを持ちつつ、その役割を果たし続けている。世代を超えて生きてきた土木構造物は、それらが経てきた過去の歴史を語りかけている。交通の利便性や、防災などの実利的な効果を発揮しつつ、その長い寿命の中で関わってきた人々の様々な記憶を通じて、文化財として昇華している土木構造物が土木遺産である。

著者の五十畑氏は長い間私立大学で教鞭をとる傍ら、橋やトンネル、駅舎などの鉄道関連施設、ダムや下水施設といった、社会基盤の縁の下の力持ちとして、黙々と与えられた役割を果たし続けている生きた施設などの土木構造物や土木遺産を著作や講演などを通して紹介している。

本書は、品川灯台、ドレスデン中央駅など、いまなお現存して本来の機能を継続している日本と世界の代表的な土木遺産260カ所の特徴や意義、見どころを500枚超の写真とともに「運河、疏水」「ダム、堰堤、河川構造橋」「ドック、港湾、防波堤」「鉄道、駅、モノレール、LRT」「コンクリート橋」「石橋」「鉄、鋼橋」「木橋」「可動橋」「塔状構造物」「まち並み」「土構造、トンネル、その他」などに種別し、簡潔に解説している。現地を訪れる際のガイドブックとしても使えるので、書店で一度手にとってみてはいかがだろうか。